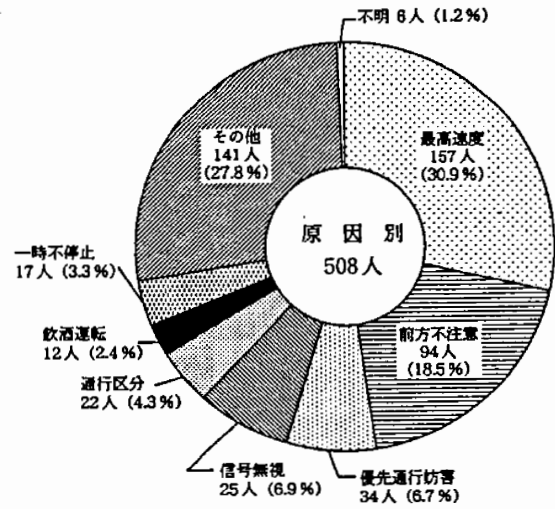


134. 交通事故

原因別死亡事故発生状況

平成2年中に県内で発生した交通事故は、発生件数24,995件（対前年比2.8%減）、死者数508人（同5.2%増）、傷者数32,442人（同2.9%減）となった。

原因別についてみると、安全不確認等の安全運転義務違反が11,414件（45.7%）で最も多く、次いで交差点安全進行義務違反2,488件（10.0%）、優先通行違反2,087件（8.3%）となっている。



(1) 交通事故件数と被害状況

年	件数			死者数		
	総数	車両による原因	歩行者による原因	総数	死者数	傷者数
昭和61年	20,404	20,230	174	26,611	445	26,166
62	20,843	20,561	282	26,994	452	26,542
63	23,010	22,777	233	29,995	456	29,539
平成元	25,718	25,494	224	33,904	483	33,421
2	24,995	24,865	130	32,950	508	32,442

資料 警察本部「交通白書」

(2) 原因別交通事故件数

平成2年

原因	件数	構成比	原因	件数	構成比
総数	24,995	100.0%	最歩行者	613	2.5%
車両によるもの	24,865	99.5%	高速度妨害	678	2.7%
安全運転義務違反	11,414	45.7%	度害行反行し	668	2.7%
前方不注意	4,945	19.8%	通達通越	181	0.7%
安全不確認	2,609	10.4%	間折折	2,087	8.3%
安全不注視	2,350	9.4%	左過そ	278	1.1%
全速過度不適	259	1.0%	の	210	0.8%
ブレンド操作	701	2.8%	の	440	1.8%
ハンドルの操作	322	1.3%	の	28	0.1%
徐差	228	1.0%	の	2,336	9.3%
交差点安全進行違反	1,124	4.5%	歩行者によるもの	130	0.5%
信号無視	2,488	10.0%	と	36	0.1%
酒酔	999	4.0%	の	22	0.1%
指定場所一時不停止等	119	0.5%	の	41	0.2%
	1,202	4.8%	の	31	0.1%

資料 警察本部「交通白書」